

		11月末の人口	
世帯数		男	女
		六九四人	九七〇人
計		九四二人	一九一二人

広報
うまじ

昭和54年1月1日発行
 第七五号
 編集 馬路村教育委員会
 発行 馬路村教育委員会
 印刷 安芸印刷



熊野神社 本殿前にて

新しい年を

迎えて

新年のごあいさつ

村長 小松 千歳

馬路村の皆さん、新年おめでとうございます。ご家族お揃いで新しい年をお迎えになられた事と存じます。私は昨年十二月三十日まで満四年の任期を終了致しました。そして再び皆様方のご支持を得て新しい決意のもとに村政をお預りすることになりました。

今ここで過ぎし年をふり返りながら新しい年、新しい任期を迎え、の抱負を申し上げてみたいと思

年頭にあたり、議会を代表して謹しんで新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆さんには、輝かしい新年を、お迎えのことと存じ、お喜び申し上げると共に本年もどうか幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。

前年を振り返ってみますと、本村は営林署の統廃合に振り回されて、明け暮れました。営林署統廃合阻止馬路村民会議が結成されて以来、村民一丸となって統廃合絶対阻止のため、懸命の努力を傾注して参りましたが、ついに官報に告示され本年三月一日に馬路営

林署の皆さん、新年おめでとうございます。ご家族お揃いで新しい年をお迎えになられた事と存じます。私は昨年十二月三十日まで満四年の任期を終了致しました。そして再び皆様方のご支持を得て新しい決意のもとに村政をお預りすることになりました。

今ここで過ぎし年をふり返りながら新しい年、新しい任期を迎え、の抱負を申し上げてみたいと思

年頭の辞

議長 尾谷 利晴

林署は、魚梁瀬営林署に統合することになり、馬路営林署は馬路営林事務所となることになりました。此の間、県選出国會議員、県知事、県議会、各種民主団体のご指導、

て行つて来た阻止行動は決して無駄でなかったと考えられます。それは条件として

①馬路営林事務所を設置する。

②研修施設を設置する。

③地域振興対策を推進する。

等が発表され、且つ実施期日が二ヶ月延びた事も馬路村挙げて、この問題に当つてきた成果であります。

また此の年は、統廃合でゆれながらも、村の基盤整備、生活環境施設の整備は着々と行つて参りました。主な村道の開設整備は、北路線外3路線、村道の開設は奥栗一谷線外5路線、農道整備3路線他に就業改善センターの建設、日浦地区の公営住宅等も完成しました

馬路村民会議は発展的解散をし、今後は条件闘争に向つて賢明な村民の英知とご協力を賜り、最善の条件を確保すべく頑張り抜く決意でございますので、どうか一層のご支

援の糧を切に念願申し上げます。

条件の基本方針として、営林署統合前の人員確保、つまり過疎対策と併せ、財政確保対策並びに産業振興のため議会も執行部と一丸となつて、馬路村百年の計を樹て

西川、中川地区の集落移転も終了、林道大木屋小石川線も七年の歳月を費しながら完成致しました。

さて今年ですが、先づ営林署の統廃合に伴う条件について、全力を尽します。全村民の願いが条件に変わる訳ですから、署があつた時以上の馬路村を造るべくその代替措置の確保に当ります。そしてこの代替措置も含めながら「魅力のある村づくり」を行いたいと考えております。それには、村に人が喜んで住める「定住条件」を作らなければならぬし、その為には、集落内の道路も含めた林道、農林道、水路、或は学校、集会施設等の整備を図り、且つそれに適応した農、林、工、の産業を興し

なければいけない年であらうと思つています。そして村民生活の安定と福祉が増進されるべきであります。

又、本年度は温泉開発に伴なうコミュニティセンターの建設、馬路地区診療所の改築を初め、馬路中学校改築（予定）等、実施並びに計画されています。今後コミュニティセンターの運営については村民の憩いの場として、魚梁瀬森林資源と併せ観光誘致のメッカとして、活気のある郷土造りの核となるよう最善を図るべきと考えています。農林業の振興特産「ゆづ」の振興策はもとより、林業立村と

て行くべきだと考えております。今年六月末には、新しくコミュニティセンターも完成しますが、これを核とした新しい村づくりの構想も打ち出して行きたいと考え

ます。然しながら尚続く経済不況は、林業を主にするこの村の前に尚厳しくお、いかぶさつております。新しい年も、決して楽観できる年でないと思されますが、昨年統廃合問題での村民の結果の力をそのまま今年以降の村勢発展の礎として、全力を挙げて行きます。今年もよろしくご指導ご協力の程をお願い申し上げます。

皆様のご多幸と御繁栄をお祈り致しまして年頭の御挨拶と致します。

して停滞気味な林業の振興策として特に、林道網の伸展等地域社会の開発について数多い問題が山積してあります。経済不況は峠を越したと云われていますが、地方財政はまだ厳しさが続くと思われ

ます。時代の発展の中で村民福祉の停滞は許されません、議会は村民の代表者として皆さんの期待と希望に添つて活力ある村造りのため、懸命の努力をして参りますので、どうかご支援とご協力をお願い申し上げます。

村民各位の最良の年となりますよう祈念申し上げて、新年のご挨拶と致します。

小松村政

二期目スタート

無投票再選Ⅱ

任期満了に伴う馬路村長選挙は十三日に告示され、現村長の小松千歳（無所属）が立候補し、十四日午後五時に立候補届け出を締め切ったが、他に届け出がなく無投票再選が決まった。

魅力ある村づくり

小松村長の話 過去四年間は災害復旧や、営林署の統廃合問題に追われ、村民に対する行政が今一歩だった、と反省している。無投票再選は村民挙げての協力と痛感、今さらながら責務の重さを感じている。今後は営林署問題と並行し、生活環境の基盤整備に全力を尽し新しい馬路村、魅力ある馬路村づくりを目指していきたい。

小松村長の略歴

馬路村馬路。旧制安芸中学卒。馬路村農業会書記を経て昭和二十二年役場入り。二十三年六月から収入役三期、三十五年六月から四十九年十一月まで助役四期。同年十二月村長初当選、五十四歳。

過疎化歯止めの核に

村民憩いの場 コミュニティセンター 起工

【奈半利】人口流出に歯止めをせしめ、安芸郡馬路村では温泉のある村民憩いの場『コミュニティセンター』（仮称）の建設計画を急いでいたが、五十四年七月オープンを目指して十二日、現地で起工式をした。

同センターは、過疎化の進行に悩む馬路村が、国の補助を受け、

「目玉は良質の温泉」
来年7月オープンの予定
総事業費1億74万円

過疎対策事業の一環として新設するもの。村としては温泉を中心と

し、〃やすらぎ〃の面での過疎施策の核にしたい意向だ。センターが建設されるのは、役場から二百ほど北に当たる馬路地区長瀬の安田川右岸で、敷地面積は五千五百平方メートル。建物は鉄筋コンクリート二階建てで、延べ面積千六百三十三平方メートル。一階にレストラン、大浴場二（各二十人収容可能）、小浴場一、展示・談話ホール、休養娯楽室、健康管理相談室、事務室を配置。二階には舞台付きホール（約九十平方メートル）、和室会議室三、研修室などを設けることになっており、総事業費は一億七千万円程度を見込んでいる。五十三、五十四の二カ年継続事業で、村企画課の話では「なんと」いつても、目玉は浴場という。さる五十一年にボーリング調査の結果、〃良質の温泉〃であることがわかった同村中ノ川の鉱泉源からパイプ（約三・七キロ）を引き、それを沸かす。

県衛生の分析によると、この〃温泉〃は含食塩重曹泉で、一kg中の含有成分総量は三千二十七mg。イオン成分は十九種類あり、このうち主だったものはヒドロ炭酸イオン千六百十九mg、ナトリウムイオン八百三十六mgで溶存物質が多く、切り傷、やけど、皮膚角化症、リウマチ性疾患などに有効な療養泉となっている。同日午前十一時からの起工式には村、村議会、村温泉審議会、工事関係者ら約三十人が参列し、神事とクワ入れをして工事の無事を祈った。

五十四年六月完工、七月オープンを目標に諸工事が進められるが、村では現在、国の新しい制度である「緑の村整備事業」（五十四年度スタート）の指定も申請中。この指定を受けることができれば、フィールド・アスレチック施設、コン虫広場、いかだ乗りコーナー、日曜大工工房などのほか、前を流れる安田川本流を一部遊漁禁止区域にし、ニシキゴイなども放流したい考えだ。

営林署統廃合問題で最近、ややもすれば沈みがちだった村民にとって、同センター建設は久しぶりの朗報といえそう。『子供には夢を、青壮年者には憩いと社交の場を、老人には生きる喜びと明日への活力を提供したい』と関係者は早期完成を待ち望んでいる。

（53年12月13日高新聞転載）

馬路村議会議員の任期満了（昭和54年1月21日）
に伴う選挙が、次の日程で執行されます。

記

議会議員選挙の告示日 昭和54年1月10日
議会議員選挙の投票日 昭和54年1月17日

条件闘争に転換 Ⅱ馬路Ⅱ

阻止村民会議が決定

【奈半利】馬路営林署の統廃合に反対している安芸郡馬路村の『営林署統廃合阻止村民会議』（会長・小松千歳村長）は一日開いた全体会のなかで、『もはや絶対阻止は困難な状況となっており、今後は条件闘争へ、軌道修正』することを承認、七日に村民大会を開催して住民に諮ることとなった。

実施を三月に延期

営林署の 地元調整に手間取る 統廃合

この全体会は、十一月二十八、二十九両日 東京で行われた県選出の井上泉国會議員ら社会党林業対策特別委のメンバーによる政府交渉の結果報告を兼ねて行われた。席上、小松会長は、『この政府交渉に最後の望みをかけていたが、特別委からの報告によると、林野庁当局は、統合強行の姿勢を譲らず、十二月四日付の官報で告示する、ただ、地元にも色々要望事項があるうから実施は当初予定の来年一月一日を二カ月延期。全国九署す

統廃合ニュース

林野庁は国有林野事業の経営改善計画の一環として来年一月一日から馬路営林署（高知県）など九営林署を統廃合することにして、だが、地元との調整がつかないため、実施時期を二カ月遅らせ三月一日からとする方針を一日決めた。四日にも官報に告示する。

九営林署の統廃合は、十カ年計

介した。

全体会はこれらをたたき台に対策を協議したが、①政府が官報で発表したもの撤回した例がない②県としても、県議会で『反対』の意見書が採択されている手前もあり、地元が軌道修正でもしないかぎり動けない、とうとう『絶対阻止』の旗を降ろすことを決定。これからは県に協力してもらい条件闘争に入ることを確認した。

〈53年12月2日高新聞転載〉

条件闘争移行を決定

阻止村民会議が決定

馬路営林署
統廃合問題

【奈半利】安芸郡馬路村の『営林署統廃合阻止村民会議』（会長・小松千歳村長）は七日午後七時から村民大会を開き、正式に条件闘争への『軌道修正』を決めた。これは今日一日に開いた村民会議役員会で、『もはや絶対阻止は困難な状況となっており、今後は条件闘争に転換する』旨を承認したこと、住民全体に諮るために開催されたもの。会場の村就業改善センターには村全域から約二百

ところが地元の自治体は、『営林署の廃止は過疎化に拍車をかける』として統廃合計画に反対、陳情を繰り返した。このため同庁は①営林署が廃止されても国有林野はなくなり、育林、伐採のための担当区事業所は残る②地域の実情に即した過疎対策を行うーなどと地元の説得に努めたが、四営林署の関係自治体との話し合いが煮詰まらず、結局、実施時期を二カ月遅らせ、その間に地元を説得することになった。

〈53年12月2日高新聞転載〉

人が出席したが、会の冒頭、小松村長は『昭和四十七年から抗議行動を続けてきたのに、残念な報告をしなければならぬ』と、まずあいさつ。今までの経過報告をするとともに、『四日の官報で来年三月一日から統廃合を実施する、と告示された。このうえは条件闘争に転換することにより、人口減に見合うだけの成果を獲得していく考えで、一応、阻止村民会議はこれをもって発展的に解消したい』と、軌道修正を村民らに諮問。満場一致で、条件闘争突入が決定した。

〈53年12月8日高新聞転載〉

議会だより

(馬路村議会事務局)

九月下旬、十月、十一月の議会は次の通りです。

九月

25日 国有林対策特別委員会

27日 昭和五十二年第五回馬路村議会(定例会) 議案九件、議員提出意見書議案三件、陳情書一件

28日 総務常任委員会(休会中)

産業建設常任委員会(ク)
国有林対策特別委員会(ク)
30日 中芸高校創立三〇周年記念式典(於田野町・総務常任副委員長出席)

十月

5日 四国地区町村議会議員等研修会(於県民文化ホール・議長外十一名出席)

11月

1日 産業建設常任委員会
4日 総務常任委員会
7日 道路事情管内視察(平山県議、県土木部副部長)に対し随行陳情を行う(議長、産業常任委員長)

9日 安芸郡町村老人体育大会(於安田町・議長出席)

27日 日中平和友好条約批准記念県民集会(於県民体育館・事務局長出席)

高知市在住馬路同郷会(於高知市・議長、両常任委員長出席)

31日 安田町立中山小中学校竣工式(議長出席)

十一月

1日 産業建設常任委員会

4日 総務常任委員会

7日 道路事情管内視察(平山県議、県土木部副部長)に対し随行陳情を行う(議長、産業常任委員長)

その他、農業委員、公平委員、遺族会長等を歴任

10日 昭和五十三年第六回馬路村議会(臨時会)付議案件四件の審議を行う。

中芸消防団長会長海外消防事情視察壮行会並びに県政功労祝賀会(於奈半利町・議長出席)

21日 全国町村議会議長大会(於東京都・議長、事務局長出席)

29日 昭和五十三年第七回馬路村議会(臨時会)付議案件二件の審議

30日 安芸広域市町村長、議長会(於安芸市・議長出席)

秋の叙勲 勲五等瑞宝章に輝く岩城立吉さん 地方自治功労者 知事表彰の栄誉を輝く岩城勲さん 農林業関係功労者

最良の好日



岩城立吉
馬路在住

十一月十四日午後六時から村就業改善センターで両氏の受賞祝賀会が開催され、平山県議外百二十名が出席し両氏の受賞を盛大に祝福しました。(以下、両紙の略歴)

岩城立吉氏 (馬路)
行政、収入役、助役、村長を歴任
議会、監査委員、総務常任委員、議長を歴任
農協、森林組合各理事及び組合長を歴任



岩城 勲
高知市在住

岩城 勲 (現在高知市在住)
昭和二十二年高知県林産(株)専務取締役
縮役に就任以来馬路村森林組合常務理事等を経て社団法人高知県林業公社の初代専務理事に就任。現在は県山林種苗生産農業協同組合長、社団法人県緑化公社理事等の役職についています。



山中真木さんによる
福島勇さんによる
わらじ作り
竹とんぼ作り

子供でにぎわう

実演コーナー

第六回馬路村文化祭

11月25日・26日の両日馬路体育館で開催され、保育園児、小中学校児童生徒作品、一般展示(絵画書道、文芸、生花、写真、工芸、手芸、寒蘭等)即売コーナー、婦人会の食堂、農協森林コーナー、馬路村各種行事の記録の8ミリコーナー、実演コーナー(竹とんぼ、わらじ・ぞうり)等を設け、まずまずのうちに終了しました。

日誌

11月

1日 農業委員会

2日 県戦没者追悼式

2日~4日 菊花、盆栽、寒菊展
(就業センター)

3日 公民館結婚式(坂本誠啓・坂本敬子さん)

4日 盆栽講習会(就業センター)

4日 不用品即売会(於馬公・馬路婦人会)

6日 折紙教室(馬路)

10日 馬路村議会(臨時会)

12日 公共土木災害復旧事業査定

12日 高知フラワースタッフクラブ公演(午前馬路・午後魚梁瀬)

14日 郡バレーボール選手権大会(於奈半利・馬路ママさん参加)

14日 受賞祝賀会(秋の叙勲、勲五等端宝章(地方自治功勞者)岩城立吉)

17日 高知県知事表彰(功勞者)岩城勲)

17日 魚梁瀬公営住宅・馬路診療所入札

17日 巡回子供芸術劇場(人形劇「花いちもんめ物語」ほか)

19日 午前馬路・午後魚梁瀬

19日 第七回馬路地区はし拳選手権大会(於馬路・主催馬路地区はし拳愛好会)

20日 熊野神社神祭(馬路)

21日 熊野神社奉納相撲大会(馬路)

23日 営林署統廃合阻止村民会議小委員会(於就業センター)

井上国會議員・平山県議出席

25日 勤勞感謝の日

25日 安芸郡市町村対抗軟式野球大会(於安芸市・馬路体育会参加)

25日~26日 第六回馬路村文化祭(馬路体育館)

26日 東部バトミントン大会(於芸西・魚梁瀬体育会2部の部、女子第一位、男子第三位)

29日 馬路村議会(臨時会)

12月

1日 営林署統廃合阻止村民会議小委員会及び委員会

2日 コミュニティセンター工事入札(野村組)

4日 民生委員会(魚梁瀬)

6日 公民館結婚式(清岡秋延・坂本順子さん)

7日 魚梁瀬地区総合検診

7日 馬路村議会(臨時会)

8日 営林署統廃合阻止村民大会(就業センター)

9日 中芸地区中学駅伝

9日 子供映画劇場(馬路・魚梁瀬各一回開催)

11日~12日 振動病検診(ゆず集荷場)

12日 コミュニティセンター起工式

13日 特別職等報酬審議会

13日 村長選挙告示

現村長小松千歳氏立候補

14日 村長選挙届け出しめ切り

無投票・現村長再任決定

獅子舞復活!

熊野神社(馬路)

昨年まで十一月十五日に行なっていました。本年から十一月二十日と変わりました。又、今までは、お神輿様も青年達がかつぎ、影、日浦迄、おなばれ、がありましたが、本年はありませんでした。

が、その事が結果的には好結果を生みだし、青年達が今まで気づかずに眠っていた、獅子舞いの復活へと向っていきました。

車でのかけ足でしたが、仲々見ごたえのある舞い方で見物人の目をひいていました。

来年度の活躍が期待されます。



↑ がんばる青年たち



住民課だより

私達の国保(下)

医療費はなぜ

こんなにふえるか

医療費が、毎年大巾に増える原因として、次のような事が考えられています。

一、医学や薬学の進歩により、高度な医療技術が開発され、新しく高価な薬が使われている。

二、寿命が大巾に延びて老人が増

え、相対的に病人が多くなっている。

三、産業の機械化、交通の発達により体力のおとろえる要因が増えているにもかかわらず、一般に健康管理、体力づくりに対する意識が低い。

ほかに、各種の公害による、新しい病気の発生や保険の給付率の引き上げ等が大きな原因とされています。

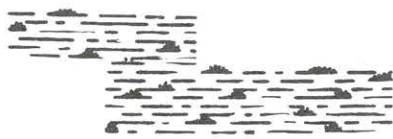
医療費の節約を

考えましょう！

疲れをとる食べ物

筋肉の中に疲労物質である乳酸がたまると疲労原因のひとつといわれています。この乳酸を分解するのは、有機酸を含んだ果物が効果的で、すっぱい食べものが疲れをとるのに役立ちます。レモン、ミカン、ブドウ、リンゴ、梅干などがそうです。

日頃から栄養のバランスを考えて、かたよらない食事を心がけましょう。食品を二色に分類して、毎日これを組み合わせる工夫をするのも偏食をさける簡便な方法でしょう。



三色の食品群

赤 (からだをつくる)

タンパク質を多く含む食品(肉類、魚類、豆類、卵類、乳製品など)

緑 (からだの調子をととのえる)

ビタミン・ミネラルを多く含む食品(緑黄色野菜、淡色野菜、海藻、きのこ類、果物など)

黄 (働くエネルギーになる)

炭水化物(糖質)や脂肪を多く含む食品(油類、砂糖、イモ類、穀類)

み、治療費もかさみます。

二時間外受診・往診を求めることはできるだけ避けましょう。

あるお医者さんは、「時間外に受診する患者の大部分は、心がけしだい時間で時間内に受診できる。実際に急病で時間外の受診を必要とする患者は僅かである。」

といっています。特に必要でない限り、時間外受診・往診を求めることは避けましょう。

三 お医者さんを信頼して、乱受診はやめましょう。

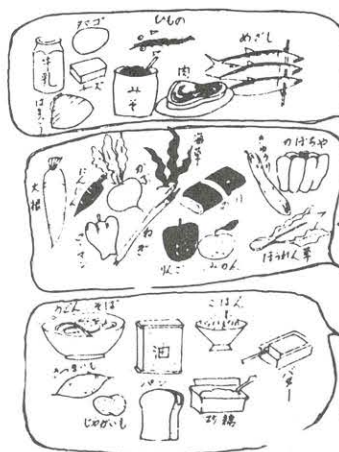
一度お医者さんをきめたからには、信頼してすべてをまかせなければ、良い治療効果はあがりません。

同時に二人のお医者さんに治療

赤

緑

黄



とり、夜は濃いお茶など刺激物をさけ、神経を疲れすぎないように注意しましょう。

をうけると、薬と薬が副作用をおこしたり、薬の量が適量を超えて生命が危険になることもあります。また一方の薬しか飲まない場合は、もう一方がムダになり医療費のムダ使いになります。

疲労を追い出そう

○疲労回復の決め手は睡眠
毎日、七〜八時間の深い睡眠を

あります。朝起きた時に、お仕事の途中で、どんな体操でも毎日、つづけてみましょう。積極的に健康づくりをする体操などは保健婦さんの指導をうけて下さい。

「ご出産おめでとぅございます

父 小松 博 母 園美 赤ちゃん 純柄 月日 部落
真美 長女 11・28 相名

第七回馬路地区はし拳選手権大会

主催 馬路村はし拳愛好会

個人優勝 団体優勝

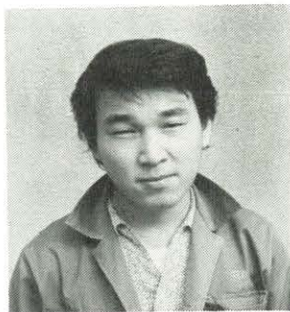
内原博信 学校チーム

毎年恒例となりました、はし拳大会が神祭の前日、十月十九日午後六時から馬路村就業改善センターで盛大に開催されました。

本年度は、二十七チーム、八十一名の参加者によって、団体戦、個人戦共にトーナメントで四土俵

に別れて行いました。また今年には「尾崎輝美いのしし飼育場」よりいのしし一頭の寄贈があり、ちかごろにない盛りあがった大会でした。本年度の成績は次の通りです。

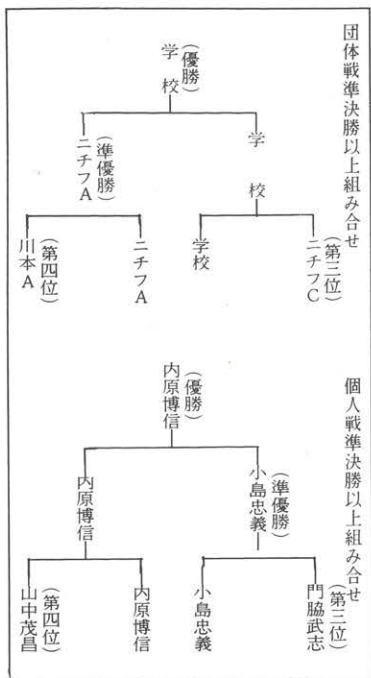
(図参照)



内原博信君



学校チーム



魚梁瀬俳壇



第65回

末枯の中よりす早きまよいねこ

堂守りの丸め行く背や枯尾花

幸男

ひらひらと落葉車窓にまい落つる

保寿

無造作にリンドウさして里の家

鉄野

この里に育ちて野菊なつかしむ

年長

峽の里ゆずのにはひのたちこめる

智子

墓石にアリ住わせて夫ねむる

びわ子

過疎のすすむ平家の里や花八つ手

唯江

晩秋と思ふ雨音一つにも

勝子

嫁ぐ娘に送りし涙暮の秋

幸男

第66回



菊花・盆栽・蘭展(31月2日)

簡素にと思ひながらに年用意

鉄野

年用意あれもこれもと胸積り

伊久

夕厨あかあか灯し年用意

勝子

言わでもの事いさかいて年用意

鉄野

行未をあれこれ想いつ年用意

年長

からころと物ころがりて冬の夜

浪江

文化祭行事の一環として、就業改善センターで3日間開催しました。出品数は、菊花・一般五名13点、魚梁瀬小生徒64点、盆栽・四名11点、寒蘭一名4点、その他1点の出品をいただきました。尚、十一月三日には、盆栽教室として高知市在住の日本植物園協会名誉会員・武井近三郎先生を迎えて、盆栽作りの講習会を開催しました。参加者は約二十名でした。

広 場

思い出

乾寅江

昭和十九年戦時体制下徴用で行き、主人危篤の報に驚ろき山口県下松市まで急行し帰宅療養するまでの思い出をペンに託して、

昭和十八年

主人行きし留守を守りて我一人

秋寒の山にそぼ刈り居たり

老いし母幼な子二人と残されし

母我の悲しみ今も忘れず

昭和十九年

主人危篤の報に驚き越え行きし

瀬戸の潮路の青さをぞ思ふ。

故郷の幼な子偲び涙しつつ

クローバ摘みし我若かりき。

(三十代の頃)

黄緑に熟れし麦畑かすめては
蝶とび居たり黄とま白と。

53年12月1日から

“酒酔い”は

免許取り消し



手をつなぎ語り合ひつつ街行きし
かの友人よ今はいずこに。
はるばると巡航船にて訪ね行きし
笠戸ドックの島のみどりよ。
拾をば単衣に縫ひて帰り来し
故郷の子等我を忘れず。

逝きし愛児を偲びて

(明神の森は無き愛し子のキャ
ンプに行きし処今も山上より
手をふり呼ぶ思いがする)

思い出の明神の森の岩清水
今尚湧くや池のほとりに。

空青くコスモス咲けば亡き吾子の
面影浮ぶ秋風の道。

りんどうの花咲き灯とる城山に
吾子は眠りてはや幾歳か。

いわし雲流れる空よせせらぎよ
吾子は帰らず秋訪れぬ。

風の音雨の雫に目覚めては
愛し子偲び涙流しぬ。

吾子眠る城山の墓地にとどけよと
門燈ともし今宵も祈る。

(昭和五十三年九月二十四日記)

(完)

“安田川の清流よ

いつまでも”

私たちのふる里の川、思い出の
川、この私たちが昔から親しみ、
育ってきたこの川が、林道工事等
や災害のためにだんだん昔のおも
かげがなくなりました。

つまでも魚が住み、夏には川遊び
のできる川であってほしいと願う
人は、私だけではないと思います。
皆さん、私たちの川を守るため
には、土木工事や家庭排水などの
私たちの生活の便、利益のため
めにとかく忘れがちになりますが、
一度、川が死に魚が住まなくなる
様になると、いくらお金をかけて
も元には仲々もどりません。村で

も自然を生かした村づくりをめざ
していると思いますが、やがて、
温泉開発や水洗便所などの時代の
波がおしよせてくると思いますが、
村におかれましても、自然保護に
力をそそいでいただきたく希望す
る者です。
皆さん、夏には「あゆ漁」をい
つしよに楽しみましょう。
川遊びの好きな者 K・II



高知フラワーソングクラブ 馬路村 公演

＝馬路・魚梁瀬両体育館で＝



教育の窓

二年ぶりに馬路A

中芸地区中学駅伝

（53年12月8日高新聞転載）

【奈半利】第二十一回中芸地区中学駅伝は七日、安芸郡安田町から田野町、北川村、奈半利町を経て安田中学校までの八区間四〇・六キロコース（前半一九・八キロ、後半二〇・八キロ）に七校、十一チームが参加して開かれ、少数精鋭の馬路Aが二年ぶりの優勝を果たした。

レースは安田町唐浜のスタートから前年度優勝の田野Aが飛ばし、馬路Aは三区までは二、三位に甘んじていたが、四区で地力を見せて前半を制した。後半は奈半利Aが健闘、六区と八区を制してトップになったが、合計タイムでおよびず、結局終始上位にいた馬路Aが優勝した。馬路Aは四十九年から三連勝したが、昨年は三位に転落。雪辱を期していただけに学校関係者も大喜び、優勝タイムも昨年の記録を四分近く短縮、大会新をマークした。

成績は次の通り

- ①馬路A（四国久幸、山中賢治、武井康志、畠中泰司、谷口正則、谷井章、大野源人、井上忠雄）
2時間21分28秒（大会新）
- ⑤魚梁瀬 2時間26分11秒
- ⑥馬路B 2時間28分52秒
- 区間賞
- 四区（3・8キロ）畠中泰司（馬路A）13分11秒。
- 七区（4・6キロ）大野源人（馬路A）16分24秒。
- 区間新
- 五区（5・2キロ）第三位谷口正則（馬路A）17分50秒



巡回子供芸術劇場

花いちもんめ物語ほか

十一月十七日馬路中講堂、魚梁瀬体育館で巡回子供芸術劇場として、劇団杉の子による人形劇

子供映画劇場

海底3万マイルほか



を行いました。内容は「花いちもんめ物語」などで、わたしたちの初めてきく、歌に秘められた悲しい物語りでした、ぜひ、小さいお子様をお持ちの方は、一度はお聞きになって下さい。観賞者は主として、保育園児、小中学生でしたが、いろいろな人形の使い方の説明には、大笑いで楽しみました。

=人形使いの
一場面=

十二月九日（土）馬路公民館と魚梁瀬消防屯所で文化祭の行事の一環として、映画会を開催しました。題名は「海底3万マイル（マンガ）」と「永遠の海（沖縄海洋

博の記録」の二本で、延べ一時間十五分位でした。馬路では約40名、魚梁瀬約60名の子供達が、16ミリ映画を楽しみました。

道標 みちしるべ

=29=

部落問題と 国民的課題

これまで、今もなお残っている部落差別や部落の歴史、解放運動の歩み、などについてのべてきましたが、この部落問題というのは、私たちすべての国民の生活と、どのような関係があるのでしょうか。同対審査申にも「部落問題の解決は、国の責務であり、同時に国民的課題である」とのべられていますが、なぜ、すべての国民の力で解決しなければならない、国民全体の問題なのでしょう。

(一) 私たちの身のまわりの差別

私たちの身のまわりには、まだいろいろの差別が残っています。「あの家は家がらがよい」「身分の高い人」「女のくせに」「百姓のくせに」などの言葉が、まだ私たちの生活の中にたびたび出てきます。これらは、それぞれ「門地による差別」「身分による差別」「男女による差別」「職業による差別」をあらわした言葉ですが、まだこのほかにもいろいろな差別があります。

そして、それらの差別によって、差別される側に入れられた人々は、やしべられ、のけものにされ、あるいは不利益を受け、不幸な目に

あわされていますが、最も重大なことは、すべての人が生まれながらに持っている「人間はすべて自由であり、平等でなければならぬ」という「人類普遍の原理」と、人間はみな人間らしく生きる権利を平等にもっている」という「基本的人権」を侵されている、ということです。

つぎに大切なことは、わたしたちは、これらの差別の中で長い間生活してきているので、気がつかない時もあります。これらのほかにも、私たちの身のまわりには、まだいろいろな差別や不合理が残されており、わたくしどもは気がつかないだけではなく、それよりも「長いものには巻かれる」という諺もあるように、「差別は昔からあるもので、しかたのないこと」と、知らず知らずのうちに、それらの差別や不合理を認め許しあきらめてきているということです。差別は人間の社会にずっと大むかしからあったものではなく、人間が作り出したものなのです。そして、そのはじめの差別を許してきたわたくしたちの先祖は、次の新しい差別も許し、そのうちに、いつの間にか、次々と、人間に上

下、尊・卑をつけて差別するようになり、社会全体が差別を認め、差別を許してきたわけです。そして、現在もなお、社会全体に、差別の存在を認め、差別を許す考え方が残っているということです。

更に、たいせつなことは、これらの、いろいろな差別と、その差別を許す考え方が、私たち国民の生活をゆがめ、国民を不幸にしているということです。男女の差別によって、女性の権利がどれほど奪われ、どれくらい不利益を受け、不合理なあつかいをされてきたかは、新しい憲法や民法が定められるまでの女性(妻)の生活を考えればすぐわかんと思います。この差別意識は現在もまだやはり残っています。「家がらが違う」と

か「身分が違う」とかいうことで、いかに多くの人が泣かなければならなかったことでしょうか。もともとはあるはずのない、「家がら」とか「身分」とかいう差別の亡霊にとりつかれたことによって私たちは、自分自身を不幸にしていたわけです。学歴による差別のために、その能力や人格を正しく評価されず、そのために、実力を十分に發揮して輝かしい人生を送るこ

とのできなかった人もたくさんあります。職業差別のために、肉体労働をいやしむ考え方が生まれ、そのために、たとえば、「百姓」「ドン百姓」「土方」などという言葉が使われ、みずからも卑下して暮らしてきました。民族差別によって、中国や朝鮮の人々を差別した日本人は、欧米人に「ジャップ」といって差別されても泣き寝いりをしてきましたし、ひどい例では、戦後になつてから、ごく最近も、アメリカ軍人による差別のために射殺された日本人もありました。私たち日本国民の意識の中に巣を作っている。差別や不合理を許す気持は日本国民みずからの生活を不幸にし、その家庭生活や社会生活をゆがめ、民主化、近代化のブレーキとなつてきたのです。

時には、このため死ななければならなかった人さえあることを考えれば、まさに、差別は私たちの生活のみでなく、生命をおびやか

し、ひとりひとりの価値や人間の尊さをおかし、明るい民主化された社会を作ることが阻害してきたわけです。

今一つたいせつなことは、このような差別意識は考え方の間違つた人びとだけが持っているという単なる個人の問題のみにとどまるものではないということです。つまり日本の国民全体の中にいまだ差別が残っており差別意識があるのでひとりひとりが考え方をあらためればよいということではなく、国全体をあげて、政治も、経済も、教育も、文化も、すべての中で、差別をなくするために取り組まなければならないということです。差別意識を今まで残してきたのは明治以来の政治・経済・文化・社会体制に、大きな原因があるわけですが、これからは、国の総力をあげて、差別をなくするために取り組まなければならないわけです。

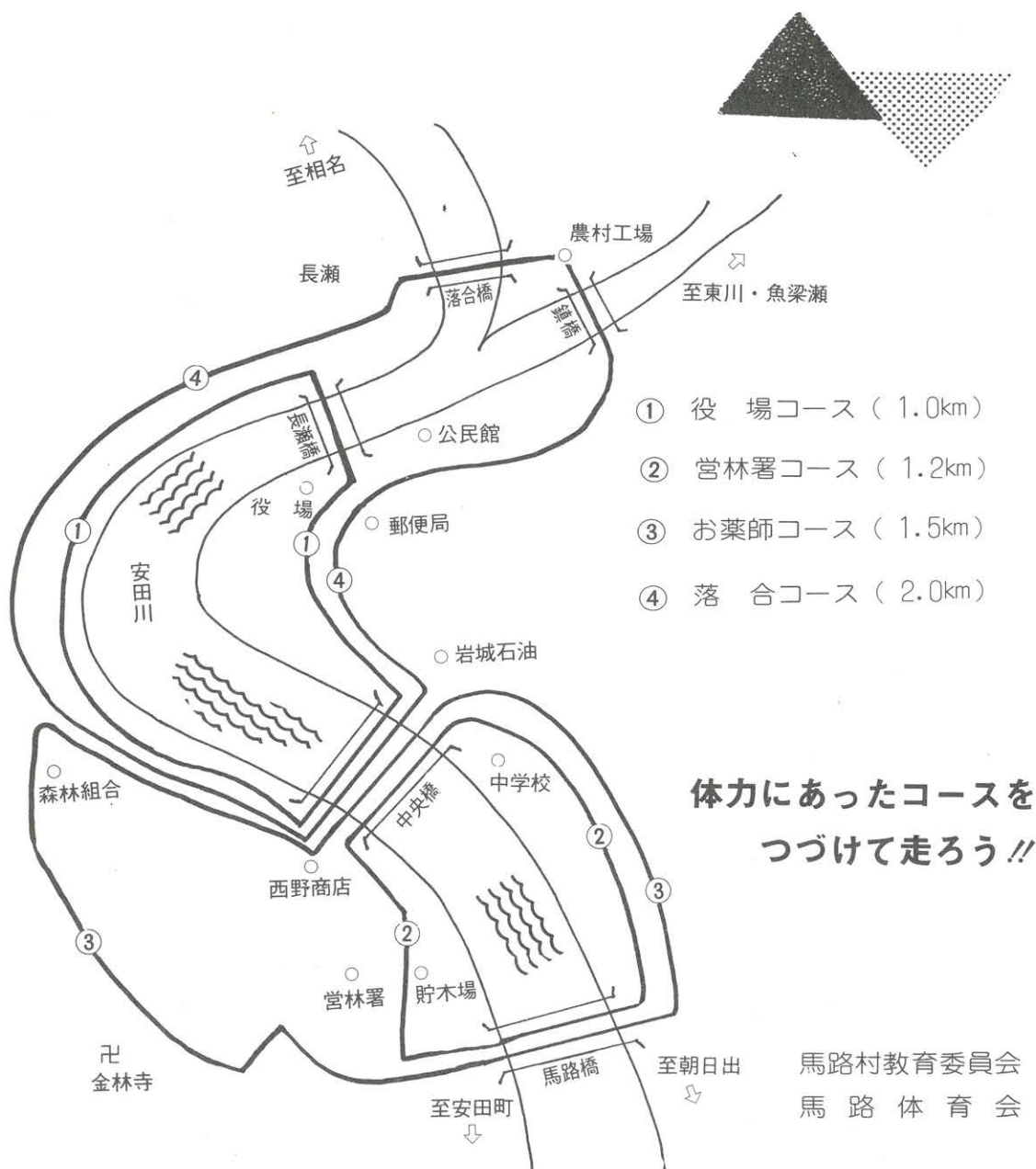
(警察白書より)
ヨロイデの増加



謹賀新年

村長	小松 千歳
助役	西尾晃一郎
収入役	永吉 仁志
総務課長	畠中 郁穂
企画課長	丸谷 裕朗
住民課長	岡田 長康
産建課長	乾 俊秋
支所長	萩野 轟
(魚梁瀬保育園長)	
馬路保育園長	式部佐由里
他役場職員一同	
議長	尾谷 利晴
副議長	門田 整
議員	
笹岡 武治	下司 定幸
清岡 義行	岡野 利幸
井上洸士郎	尾谷 明男
尾谷 康喜	高橋弥之助
浜田 守人	大野 盛
栢山 美恵	畠中 住亀
事務局長	笹岡 保
教育委員長	中村 重信
教育委員	
南 磨熙	栢山 逸男
谷井 益好	
教育長	西野 真司
他職員一同	

体力づくりマラソンコース



体力にあったコースを
つづけて走ろう!!

馬路村教育委員会
馬路体育会